

今月の
テーマ

生きるために必要な知識と行動力(Part.2)

前号に続いて、求められる金融リテラシーの第2の分野「生活設計」について考えてみよう。

「生活設計」については、これまで何度も持ち出してきた。「生活設計」という言葉自体は普通に使われるようになってはいるものの、どれほどの世帯が意識的に取り組んでいるのだろうか…。「生活設計」の必要性に対しては誰もが認めるところだろうが、実際のところは非常に厳しいものがある。後に紹介するが、「生活設計を立てている」と回答した世帯は全体で35.1%に止まっている。多くの親は我が子に対して“お小遣いは無駄遣いしないで”とか“計画的に使いなさい”とは言うが、“何を目的にするか”、“いくらを目標とするか”などの、そもそも論を共有していたかとなると、下を向かざるを得ないのでは…。

人が行動するエネルギーは、単なる常識論や知識だけでは生まれてこない。考えて欲しい…！誰もが過去の出来事の中には、時を忘れて夢中になったことが、大なり小なりあるに違いない。その時の行動の背景には、それぞれに目的・目標が明確になっていたはずで、誰かに言われたとか命令されたとかではなかったはずだ。前号では足元の収支を健全化し、黒字になるように管理することを説明したが、今回は足元の収支健全化はもとより、将来の収支が健全化するように、生活設計を立てようとするものだ。そして、そのエネルギーになるのが目的・目標の設定であり、生活設計へつながるのである。

子育てにおける金銭教育にあっては、一昔前は日常の家庭生活や社会の環境そのものがその役割を果たしていたが、今やその機能は失われ、期待できない。だから、子供たちが将来つまずかないためにも一緒に考えていく必要がある。偉そうに“無駄遣いしてはダメ、貯蓄しなさい”という言葉だけでは、甚だ説得力に欠けるというものだ。

若年世代も、子育て世代も、熟年世代にあっても生活設計は不可欠だ。自らが将来の目的・目標を見定め、将来をどう生きるかの夢も含めた生活設計に取り組む必要があるのでないだろうか…。

つぶやき
がんちゃんの

生活に何かと役立つ連載コラム

生活知恵袋

せいいかつちえぶくろ

Vol. 133

● 我が家の生活設計の状況判断を
金融広報中央委員会の「家計の金融行動に関する世論調査」における生活設計の策定状況(2019年／令和元年)※左表によると、生活設計を立てている世帯は全体で35.1%に過ぎない。

	立てて いる 生活 設計を	生活設計の策定期間					立てる つもり 生活 設計を	つ立てる つもり 生活 設計を	
		先 ま で 2 年	先 ま で 5 年	先 ま で 10 年	先 ま で 20 年	先 ま で 20 年 以上			
全 体	35.1	7.0	21.6	36.7	16.3	15.8	41.1	22.6	
世帯主の年齢別	20歳代	27.1	23.1	38.5	15.4	7.7	15.4	64.6	8.3
	30歳代	38.1	13.3	25.8	31.3	14.1	15.6	51.2	10.7
	40歳代	30.5	7.0	18.2	32.6	17.6	24.1	56.4	12.7
	50歳代	34.6	8.6	21.1	31.9	14.7	22.8	52.8	11.8
	60歳代	37.7	5.0	16.4	38.2	21.8	17.6	34.0	26.6
	70歳以上	36.1	3.7	26.8	43.8	13.4	4.3	21.1	40.9

資料:金融広報中央委員会「家計の金融行動に関する世論調査」(二人以上世帯調査)(2019年/令和元年)



齋藤 廣勝(さいとう ひろかつ)
株式会社トータルライフサポート代表取締役
・CFP🄬サティファイドファイナンシャルプランナー
・1級ファイナンシャルプランニング技能士
・日本商工会議所 年金・退職金等認定講師
・住宅ローンアドバイザー
・金融広報アドバイザー

こちら

保険と暮らしの相談センター

“生命保険でこんなお悩みはございませんか!?”

- 保険の見直しを検討している
- 加入している保険が本当に良いのかわからない
- 更新時期が近く、保険料がアップしてしまう
- 将来の子供の教育費が心配

相談は無料!!
納得いくまで相談できます。

お気軽にお問い合わせください。

株式会社 トータルライフサポート

〒010-0916 秋田市泉北3丁目17-22

● 営業時間／9:30～18:00

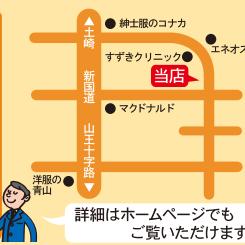
(土・日・祝日は9:30～17:00)

● 定休日／水曜日

TEL 018-827-7611

FAX 018-827-7610

URL <http://tls-akita.co.jp>



詳細はホームページでもご覧いただけます。

ならば、生活設計における基本項目を見ながら、それぞれの世帯の生活設計レベルをセルフチェックしてみようではないか。そこで、次に「金融経済教育推進会議」がまとめ上げた「金融リテラシー・マップ」の中から、その一部を引用し、次に並べたので、是非とも我が家の生活設計の達成度をセルフチェックしていただきたい。

【「ライフプラン」の明確化および「ライフプラン」を踏まえた資金の確保の必要性の理解】

① ライフプランを明確にしている

□ ライフプランの必要性を理解し、自分の夢や希望を実現するため、ライフプランを立てている

□ 関係づけて理解し、職業選択をライフプランの一環として主体的に考えている

□ 働くことの意義を、夢や希望の実現とこのイメージを具体化している

□ ライフプランの実現に向けて計画性をもって努力する態度を身に付けている

□ 家族一人ひとりのライフプランを共有し、互いにその実現に向けて協力できる

□ 内的・外的な環境の変化に応じて、ライフプランを見直すことができる

② ライフプランを実現していくためには、経済的な裏付けとして資金を確保することが必要であることを理解し、必要な資金を貯蓄、運用、借入などにより計画的に準備していくことができる

□ ライフプランを実現するうえで、お金が果たす役割を理解する

□ 働き方や付加価値のつけ方によって生涯所得などに大きな差異が生じることを理解し、お金を得たり、夢・希望を実現するために様々な努力・工夫が必要であることを理解する

□ 限られた予算の下でよりよい生活を築き、将来に備え貯蓄を行うことの意義を理解し、実践できる

□ ライフプランに沿ってライフステージ毎

● セルフチェックの結果はいかに?

● 来月号は



引き続き「生活設計」の先の行動につながるよう、さらに具体化し、考えてみよう。

□ 住宅等の実物資産を売却しようとする場合には、利用や経年劣化等による減価以上に市場価格が下がることもあり、売却しにくことがある点を理解する

□ 税金や公的保険の基本的仕組みを理解するとともに、金融商品について、その特性に応じ資金の目的・性格に合わせて選択することができる

□ 消費者も社会的責任を有するものとして、消費行動を通じて公正で持続可能な社会の実現に貢献するなど、将来の社会・経済のあり方に對して貢献することが求められていることを理解している

□ 社会貢献の仕方として、ボランティア活動、寄付などから投資、日常の消費行動まで、様々なレベルでの行動があり得ることを理解し、自ら在り方を考え、行動していくことができる

✓ 目標を実現させる時期

✓ 必要とする資金の額

✓ 資金の準備・調達方法

✓ 実現に向けての取り組み手段

先が見えてくると、その実現に向けた行動へのエネルギーが湧いてくる。

どうであるかとの見方をしてみれば、本質が見えてくるはずだ。面倒くさいことのように思われるかもしれないが、より良い人生を送るためにも生活設計は単なる計画ではなく、人生上の夢や目標を実現するための具体的な行動を伴う「プランニング」でなければならぬ。

● 先ずはライフプランを

さて、先ずは将来の夢・希望・目標に基づく具体的な「ライフプラン」を立ててみよう。それのために、主なものを次に分類してみたが、これ以外にもそれぞれに違ったものもあるはずなので隨時加えていただきたい。

① 仕事(学業)について

② 資格・習い事

③ 家族のこと

④ 購入したいもの

⑤ 趣味や旅行など

⑥ 住まいについて

⑦ その他

それぞれの目標が見えてきたら、いつまでに幾らの準備が必要かを順に追っかけるようにする。そうやって書き出すことにより、その実現性・可能性に向けたシナリオが見えてくる。ここまでくれば実際に楽しい作業に代わってくるはずだ。